

# そうぞうしたことを音読げきであらわそう

中心学習材「お手紙」（光村図書2年）

## 1 単元構想

### （1）子供の実態

- ・役割を決めて音読する学習を好む子供が多い。
- ・物語文の読み取りにおいて、登場人物の会話や行動が分かり、内容の大体を捉えることができている。
- ・登場人物の行動の理由を想像する学習は、まだ経験していない。
- ・感じたことや分かったことを分かち合おうとする子供は増えてきている。

### （2）身に付けたい国語科固有の資質・能力

#### <指導事項の系統>（既習事項）

- ・音読は、声の大きさや読む速さなどによって工夫できることを知っている。（2年）
- ・登場人物の行動や会話ができる文を見付ける。（1年）
- ・絵に描かれていることを手掛かりに、行動を理解する。（1年）
- ・人物の行動や出来事を短い言葉で書く。（2年）
- ・人物の行動など、短い言葉で書かれたものを、時間の順序に繋げる。（2年）

#### <付けたい力>（重点指導事項）

- 〔知〕 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する力（（1）音読、朗読 ク）
- 〔思〕 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像する力（C 精査・解釈 エ）  
文章を読んで感じたことや分かったことを共有する力（C 共有 カ）
- 〔学〕 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、思いや考えを伝え合おうとする力

### （3）主となる言語活動とその特徴

**言語活動** 登場人物の行動や様子を想像し、音読劇として表す活動

- 特徴**
- ①語のまとまりや言葉の響きに気を付けて音読することを通して、自分が感じたことや分かったことを、自分の声を自分で聞きながら把握することができる。
  - ②演じる活動を通して、場面の様子を適切に捉え、登場人物の行動を具体的に想像することができる。
  - ③音読劇として表すことで、物語を読む楽しさを共有したり、味わったりできる。

### （4）深い学び実現のための手立て

#### ①働かせる「言葉による見方・考え方」

- ①自分が理解したことを確かめたり、表現したりするために、言葉の響きやリズムに着目する。
- ②登場人物の会話や行動を捉えるために、会話文の内容や主語・述語の働き、地の文に着目する。
- ③登場人物の行動を具体的に思い浮かべるために、結び付ける場面に着目したり、登場人物の行動、表情、口調、様子、行動の理由などに着目したりする。
- ④感じたことや分かったことを共有するために、想像したことや音読表現の違いとよさに着目する。

#### ②主に発揮させたい「学びを推進する力」（汎用的な資質・能力）

##### 情緒の力

- 《力の具体》 ・物語の楽しさや場面の様子を感じたり、登場人物の行動を具体的に想像したりして、感情や想像を言葉にする力
- 《選択の根拠》 ・児童が「情緒の力」を発揮させたならば、登場人物に親しみや共感をもって作品を読み、場面の様子を感じたり、登場人物の様子を具体的に思い描いたりすることにつながるのと同時に、感じたり想像したりしたことを表現しようとするにつながると思ったため。

##### 受容・共感する力

- 《力の具体》 ・友達の考えや音読表現のよさを認める力
- 《選択の根拠》 ・児童が「受容・共感の力」を発揮させたならば、想像したことを伝え合ったり音読で表したりする際に、友達の感じ方や考え方、音読の仕方などに関心をもって聞き、共有することができると考えたため。

#### ③具体的方策

- 方策① 子供が十分にお話に親しみをもてるよう、「ふたりはともだち」シリーズの導入読書を行う期間を確保する。また、子供が感じたことや考えたことを読みに生かすことができるよう、導入読書の履歴や初発の感想を把握し、単位時間の導入や読みの場面で、適宜取り上げる。
- 方策② 声に出しながら理解を深めていくことができるよう、ねらいに合った形式の音読を繰り返し取り入れる。（「みんなで音読」「ペアで音読」「なりきり音読」「動いて音読」など）
- 方策③ 互いの考えや音読表現のよさを認め合い、共有することができるよう、友達の考えや表現の着目する部分を示し、それに対する発言やつぶやきを意図的に取り上げたり、友達の表現を真似してみる活動を取り入れたりする。

## 2 単元の学習計画

### (1) 単元の評価規準

[知] ①語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 ((1) 音読, 朗読 ク)
[思] ①「読むこと」において, 場面の様子に着目して, 登場人物の行動を具体的に想像している。 (C 精査・解釈 エ)
②「読むこと」において, 文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(C 共有 カ)
[主] ①物語を楽しんで読み, 進んで, 場面の様子に着目して, 登場人物の行動を具体的に想像し, 感じたことや分かったことを基に, 音読劇として表現しようとしている。

### (2) 指導と評価の計画 (全12時間)

次	時	学習活動	指導上の留意点 (〈発揮させる「学びを推進する力」〉)	評価規準・ 評価方法等
一	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読劇やブックトークを聞き, 読書ウィークの方法を知る。</li> <li>単元の学習課題を設定する。</li> <li>「お手紙」を読み, 学習の見通しをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物語に関心をもてるようにするとともに, 音読劇の活動への意欲を高めるために, 教師による『はるがきた』の音読劇や「ふたりはともだち」シリーズのブックトークを行う。</li> </ul>	[主体①] <u>発言・読書の様子</u> ・物語に関心を持ち, 進んで本を読もうとしている。
	課外	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書ウィーク(「ふたりはともだち」のシリーズから, 自分が選んだ本を読む。)</li> </ul>	(情緒の力)	
二	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面分けをする。</li> <li>会話文を整理する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面の違いを感じ取れるようにするために, 挿絵や叙述から, 場所, 登場人物, 主な出来事などを確認する。</li> </ul>	[思・判・表①] <u>ワークシート</u> ・登場人物の行動や会話から, 内容の大体を捉えているかの確認
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>書いてあることを確かめ, 内容の大体を捉える。</li> <li>(一) がまくんの家で, がまくんが言ったことと二人がしたこと。</li> <li>(二) かえるくんの家で, かえるくんがしたこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰が話したことか確かめるために, 主述や会話文の内容に着目しながら読み, 整理する。</li> <li>内容の大体を捉えるために, 登場人物の行動と, 会話を整理しながら読んだり, 読み取ったことを板書に位置付けたりする。</li> </ul>	
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>書いてあることを確かめ, 内容の大体を捉える。</li> <li>(三) かえるくんが, かたつむりくんに頼んだこと。</li> <li>(四) がまくんの家で, 二人が話したこととしたこと。</li> </ul>	(論理的に思考する力)	
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>様子を思い浮かべながら読む。</li> <li>○二人が悲しい気分で玄関前に腰を下ろす様子。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の行動を具体的に想像するために, 叙述や挿絵からどのような様子に着目して読むか捉え, ねらいに合わせた音読を繰り返しながら, 登場人物の行動, 表情, 口調, 様子, 行動の理由などを具体的に思い浮かべられるようにしたり, 登場人物の会話文を書く活動を位置付けたりする。</li> </ul>	
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>様子を思い浮かべながら読む。</li> <li>○かえるくんが, 大急ぎでお手紙を書く様子。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感じたことや分かったことを共有するために, それぞれの考えや音読表現の着目する部分を示したり, 友達の表現を真似してみる活動を取り入れたりする。</li> </ul>	
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>様子を思い浮かべながら読む。</li> <li>○かえるくんが, 3回も窓からのぞきながらお手紙を待つ様子。</li> </ul>	(情緒の力) (受容・共感する力)	
	8 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>様子を思い浮かべながら読む。</li> <li>○「ああ」「とてもいいお手紙だ」と言ったがまくんの様子。</li> </ul>		

三	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初の様子と二人がお手紙を待つ様子を比べながら読む。</li> <li>・長い間待っていた理由を話し合う。</li> <li>・様子を思い浮かべながら読んできた内容を振り返る。</li> <li>・音読したい場面を決める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学習や並行読書の様子を想起し、親しみや共感をもって話し合うことができるようにする。</li> <li>・読みたい場面を決め、読み方を工夫するために、今までの学習のワークシートと、「チャレンジシート」を活用して考えをまとめるようにする。</li> </ul> <p style="text-align: center;">〈情緒の力〉〈自己決定する力〉</p>	
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのように読むか、どう動くかを考える。</li> <li>・音読劇の練習をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感じたことや分かったことを共有するために、それぞれの考えや音読表現の着目する部分を示しながら見合い、よい発言やつぶやきを取り上げる。</li> </ul>	<p>〔思・判・表②〕 ワークシート・発言 ・友達の考えや音読表現のよさに着目し、共有しているかの確認</p>
	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで読み方や動きの工夫を紹介し合う。</li> <li>・音読劇の練習をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み方や動きを工夫して表現できるようにするために、音読劇の場作りをするとともに、話し合ったり試したりしながら繰り返し練習する時間を確保する。</li> </ul> <p style="text-align: center;">〈表現する力〉〈受容・共感する力〉</p>	<p>〔知・技①〕 音読劇の様子 ・言葉の響きやリズムなどに注意しながら、自分が理解したことを表現できるように読んでいるかの確認</p>
	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音読劇の発表会をする。</li> <li>・感想を交流し、単元の学習を振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身に付けた力を自覚できるようにするために、「チャレンジシート」を使ってできたことを確かめたり、音読劇のよかったことについて感想交流したりする。</li> </ul> <p style="text-align: center;">〈メタ認知する力〉〈受容・共感する力〉</p>	<p>〔主体①〕 ノート記述・観察 ・物語を楽しみながら、感じたことや分かったことを音読劇に表そうとしているかの確認</p>

### 3 本時の指導（8／12時）

#### (1) ねらい

- ・会話文「ああ。」「とてもいいお手紙だ。」に着目し、二人の様子や、行動の理由を具体的に想像しながら読むことができる。

#### (2) 展開

学習活動・学習内容（◎主発問）	指導の手立て 〈発揮させる「学びを推進する力」〉（※評価）
<p>1 前時の学習を想起する。</p> <p>2 学習課題を確認する。</p> <p>がまくんが、「ああ。」「とてもいいお手紙だ。」と言ったのはどうしてだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「かえるくんが3回もまどをのぞいた理由」を確かめたことを想起できるように、紙板書を指し示す。</li> <li>・課題意識をもてるように、「みんなと話し合いたいこと」として提示する。</li> </ul>
<p>3 様子や行動の理由を想像しながら読む。</p> <p>(1) 音読し、場面を確かめる。</p> <p>(2) 自分の考えを書く。</p> <p>◎がまくんが「ああ。」「とてもいいお手紙だ。」と言ったところは、どのように読んだり、どんな動きをしたりしますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「どのように」「どんな動き」を短く書く。</li> <li>・絵や会話のどこから考えたか、サイドラインを引くなどして、理由が言えるようにする。</li> </ul> <p>(3) 場面の様子をつかみ、課題を解決する。</p> <p>・かえるくんが、お手紙を書いたことを知ってびっくりしてうれしかったから。</p> <p>・「親愛なる」「親友である」と言ってもらってうれしかったから。</p> <p>・「親友であることをうれしく思っている」と言われて自分もうれしかったから。</p> <p>(4) まとめの音読をする。</p> <p>4 幸せな気持ちで座っている絵に、がまくんの会話文を書き込み、発表し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会話文を意識することができるように、教師が地の文、児童が会話文を読むことを伝える。（20ページ3行目から22ページまで）</li> </ul> <p>・場面の様子をつかんだり、行動の理由を想像したりすることができるように、「みんなの音読」「ペアでの音読」「なりきり音読」「動いて音読」を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に迫るように、かえるくんやがまくんの様子が伝わる会話文を取り上げる。</li> <li>・友達の音読のよさを感じることができるように、教師が見取ったことを伝えたり、子どものつぶやきを取り上げたりする。</li> <li>・様子を思い浮かべることができるように、相手を大切に思う気持ちが見える板書を位置付ける。</li> </ul> <p>〈情緒の力〉〈受容・共感の力〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会話文を意識することができるように、指名した児童が会話文、他の児童全員が地の文を読むことを伝える。（20ページ3行目から22ページまで）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かえるくんの会話も考えたいという希望が出たら、認める。</li> </ul> <p>（※ワークシート、（音読・発言））</p>
<p>5 身に付いた言語能力を自覚し、次時を意識する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次時を意識することができるように、音読劇でどの場面を読みたいか考えることを話す。</li> </ul>

#### (3) 評価

評価規準 《評価方法》	がまくんの様子や行動を具体的に想像している。 《ワークシート（音読・発言）》
見取りの要素と 表現例	がまくんの様子や行動を根拠に、がまくんの会話文を想像して記入している。 表現例①【かえるくんの行動に着目】かえるくん、ぼくのために <u>お手紙を書いてくれて</u> ありがとう。 表現例②【かえるくんのお手紙の内容に着目】かえるくん、ぼくも君のことを親友だと思っているよ。
個に応じた支援	幸せな気持ちで座っている絵とお手紙の内容の叙述を結んで示し、お手紙に書かれたことを知ったとき、どのように話すと思うかを問う。